

第65回 講演会

「発達障害」とは何かー 「学校がつくる発達障害児」という視点から

「発達障害の子どもが増えている」と言われていますが、本当でしょうか。確かに、文部科学省の各種統計データを見ると増加していますが、ここで問題にしたいのは、「統計上の増加」＝「発達障害児の増加」という等式が成り立つのかということです。そこでまずは、文部科学省の最新調査結果を再分析することで「統計上の増加」の意味するところを明らかにしたいと思います。それを受けて、「発達障害」や「発達障害児」という概念の捉え直しを試み、「学校がつくる発達障害児」、より一般化して言えば、「制度が発達障害をつくり出す」という命題の意義を述べたいと思います。そして最後に、そのように考えることで可能となる、教育実践レベルと教育制度レベルでの「発達障害」問題への対応策を、具体的な試みを紹介しつつ考えてみたいと思います。



講師 北澤毅氏

(立教大学名誉教授)

1953年 茨城県つくば市(旧豊里町)生まれ。茨城県立土浦第一高等学校卒業。東京大学教育学部学校教育学科卒業。筑波大学大学院博士課程終了。日本女子体育短期大学専任講師、立教大学文学部教授を経て、2019年4月から立教大学名誉教授。

専門は、教育社会学、逸脱行動論。主な著書：『少年犯罪の社会的構築』東洋館出版社、『文化としての涙』勁草書房、『いじめ自殺の社会学』世界思想社、『教師のメソドロジー』北樹出版、『囚われのいじめ問題』岩波書店など。現在、「発達障害」をテーマとした編著(北澤毅・鶴田真紀編、青弓社)刊行に取り組んでいる。

日時 2023年8月26日(土)

13時00分～ 開場

13時30分～16時00分 講演・質疑応答

会場 つくば市並木交流センター
つくば市並木4丁目2番地1

定員 80名 先着順 事前申込必須

参加費 200円(資料代 大人のみ)

申し込み/問い合わせ

出来るだけE-mailでお願いします。

藤原 fsatoshi@mail1.accsnet.ne.jp 090-5502-6322

松浦 matukan18@yahoo.co.jp 080-6562-1800

楽楽大学 これまでとこれから・・・

第60回 2022年11月5日 池袋児童の村小学校と子どもたちの軌跡

第61回 11月27日『「鎌倉殿」と御家人八田知家』

第62回 2023年2月19日 『万葉集の筑波山』出版記念講演

第63回 3月11日『ガマ口上の由来と実演』

第64回 8月5日 『食と農に関するフォーラム』

第66回 9月10日『人生100年時代：女性は健幸華齡、男性は達老人生』

門脇厚司氏

糸賀茂男

井坂敦実氏

森 正治氏

安藤益夫氏他

田中喜代次氏